

平成31年度消防庁地域防災関係施策の概要

総務省消防庁国民保護・防災部地域防災室

1 はじめに

消防庁においては、平成25年12月に成立した「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」などを踏まえ、平成31年度も引き続き、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に係る施策を全力で推進することとしています。以下、地域防災関係施策のうち主なものをご紹介します。

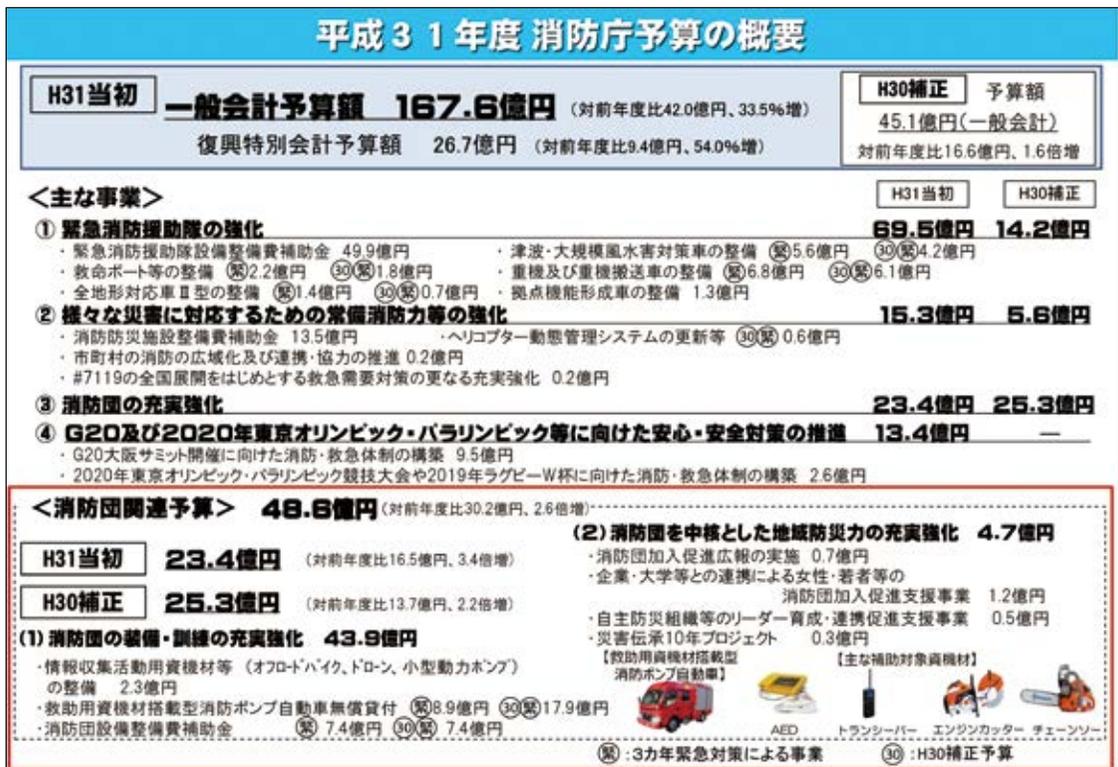
2 消防団関連予算について

消防庁では、平成30年度第2次補正予算及び平成31年度当初予算において、対前年度比で2.6倍の消防団関連の予算額を計上しています。

とりわけ、災害時における消防団のより効果的な救助活動を図るため、消防団において配備が進んでいない救助用資機材等の整備を促進する「消防団設備整備費補助金」を創設しました。

また、救助用資機材等を搭載した消防ポンプ自動車を、市町村に、訓練用として無償で貸し付ける事業を拡充しました。

さらに、平成30年度に引き続き、地方公共団体が企業や大学等と連携して、女性や若者等の入団促進に向けて取り組む先進的な取組を支援する「企業・大学等との連携による女性・若者消防団加入促進支援事業」（1.2億円）も計上しています。



消防団設備整備費補助金（消防団救助能力向上資機材緊急整備事業）の概要

○補助金の趣旨

災害時における消防団のより効果的な救助活動を図るため、消防団の配備が進んでいない救助用資機材等の整備を促進することを目的。緊急対策として、3年間に限り、臨時特例的に創設。

○補助率

1/3（地方負担分2/3に特別交付税措置（措置率0.8）を講じている）

○補助対象事業者

市町村（一部事務組合及び広域連合を含む。）

○補助対象設備：各市町村で、必要な資機材の種類、個数を選択可

①救急救助用資機材

自動体外式除細動器（AED）、油圧切断機、エンジンカッター、チェーンソー、ジャッキ

②携帯用無線機

トランシーバー（デジタル簡易無線機を含む。）

○政府予算額

㊸補正予算：7.4億円 ㊹当初予算：7.4億円

【補助対象資機材】：積算上の単価合計で約160万円



エンジンカッター
【約15万円】



チェーンソー
【約12万円】



油圧切断機
【約97万円】



AED
【約31万円】



ジャッキ
【約2万円】



トランシーバー
（デジタル簡易無線機を含む。）
【約3万円】

3 地域防災力充実強化大会

東日本大震災を経験し、いつ発生するか予測のつかない災害からの被害を最小限にとどめるためには、地域において日頃から備えを万全にしておくことが重要であり、平成25年12月に成立した「消防団を中核とした地域防



事例発表の様子（平成30年：徳島県）

災力の充実強化に関する法律」を受けて、全国各地で地域防災力を充実強化する取組が進められています。

平成26年8月、（公財）日本消防協会の主催により、消防防災関係者のみならず、各界各層から1,000人を超える方々の参加を得て、「消防団を中核とした地域防災力充実強化大会」が開催されたところですが、この取組を一過性のものとせず、同様の取組を全国各地に展開することで、地域防災力の輪を益々大きくしていくことが重要です。

このため、平成30年度では、徳島県において「地域防災力充実強化大会 in 徳島2018」を開催し、約900人の方々にご参加いただきました。なお、平成31年度においても同様の大会を開催する予定です。

4 女性消防団員等の活躍加速支援事業

女性消防団員や学生消防団員等の活躍を加速させるためのイベントとして「地域防災力向上シンポジウム」を開催しています。このシンポジウムでは、事例発表やパネルディスカッション等を通じて、地域特性を踏まえた現状の課題分析や先進事例の共有による課題の解決、女性や若者の更なる活躍のための気運の醸成を図っています。

平成30年度では全国3か所（栃木県・青森県・静岡県）で開催したところであり、平成31年度においても、引き続き、開催する予定です。



パネルディスカッションの様子（平成30年：栃木県）

5 全国女性消防団員活性化大会の開催

地域コミュニティと深くつながり、日頃より強い使命感と意欲を持って活動に従事していただいている女性消防団員は、災害発生時のみならず平常時においても地域住民に対する応急手当の普及、高齢者住宅への防火訪問、子供達への防火防災教室の開催など、地域防災に欠くことのできない大きな存在となっています。

このため、全国の女性消防団員が一堂に会し、日頃の活動やその成果を紹介するとともに、

意見交換を通じて連携を深めることにより、女性消防団員の活動をより一層、活性化させることを目的として、「全国女性消防団員活性化大会」を開催しています。

平成30年度では11月に滋賀県で開催したところであり、平成31年度においても9月に青森県で開催する予定です。



活動事例発表の様子（平成30年：滋賀県）

6 自主防災組織等のリーダー育成・連携促進支援事業

自主防災組織等の地域の防災組織等が、他の組織と連携して実施する防災訓練等の防災に関する取組を支援し、模範的・先進的な取組内容を全国に広く共有するため、提案者である都道府県・市町村に委託するモデル事業を平成29年度から実施しており、平成31年度当初予算においては約0.5億円を計上しています。

具体的には、自主防災組織や消防団、学校、社会福祉協議会などが連携して実施する、人材育成や広報活動、防災訓練などの事業を想定しており、委託額は、事業の採択数により変動する可能性があります。50万円から200万円の範囲内としています。

7 災害伝承10年プロジェクト

市町村の災害対応力の強化や地域住民の防災意識の向上を図るとともに、東日本大震災

の教訓を後世に伝承していくため、東日本大震災の被災地で活動した市町村職員、消防職団員、女性（婦人）防火クラブ員、自主防災組織の方々を語り部として派遣する事業を実施することとしています。

8 防災まちづくり大賞

「防災まちづくり大賞」は、地方公共団体、自主防災組織、事業所、教育機関、まちづくり協議会等における防災に関する優れた取組、工夫・アイデア等、防災や住宅防火に関する幅広い視点からの効果的な取組等を表彰し、広く全国に紹介することにより、地域における災害に強い安全なまちづくりの一層の推進に資することを目的に、阪神・淡路大震災が発生した翌年の平成 8 年度から実施しています。優れた取組の掘り起こしを図るため、都道府県の推薦のほか、自薦による応募を受け付けています。今後公表を行う募集要項等を御覧いただき、ふるって応募願います。

9 少年消防クラブ交流会

将来の地域防災の担い手育成を図るため、少年消防クラブ員が他地域の少年消防クラブ員と親交を深めるとともに、消防団等から被災経験、災害教訓、災害への備えなどについて学ぶ「少年消防クラブ交流会」を平成 24 年度から開催しており、平成 31 年度は 7 月 31



合同訓練の様子（平成 30 年：千葉県）

日（水）から 8 月 2 日（金）の 3 日間にかけて、徳島県において開催する予定です。

10 優良少年消防クラブ・指導者表彰（フレンドシップ）

少年消防クラブ員や指導者の意識高揚とクラブ活動の活性化を図り、少年消防クラブの育成発展に寄与することを目的に、優良少年消防クラブ及び指導者の表彰を実施しています。この表彰も励みとして、クラブ活動に継続して取り組んでいただき、地域の防災力が向上することを期待しています。



表彰式の様子（平成 30 年：東京都）

11 その他の地域防災関係施策

その他の地域防災関係施策として、全国女性消防操法大会の開催、消防団等充実強化アドバイザーの派遣等を実施する予定です。

